

若いうちから
備えられる!

魅力ポイント2
個人年金等の準備を
高利率で積み立て可能

魅力ポイント1
警察組織の
スケールメリットを生かした
安い掛金、手厚い保障

魅力ポイント5
住居費が安い
賃貸家賃は
都心の半分以下

魅力ポイント4
雄大な自然の中
アウトドアを
満喫できる

魅力ポイント3
歴史遺産や温泉など
魅力的なスポットが
多い

魅力ポイント2
東京から約50分と
都心に近い

魅力ポイント1
豊かな自然と都市が
共存するゆとりある
暮らし

警察職員ならではの充実した給与と福利厚生!

給与 給与は職員の職務と責任に応じて条例で決められています。給与の概要は次の通りです。

区分	採用時基本給 (地域手当含む)	採用1年後の給与例	
		月額	年間賞与(夏・冬)
大学卒業業者	282,000円	287,000円	1,334,000円
短大・専門卒業業者	269,000円	276,000円	1,283,000円
高校卒業業者	254,000円	262,000円	1,218,000円

区分	採用時基本給 (地域手当含む)	採用1年後の給与例	
		月額	年間賞与(夏・冬)
大学卒業業者	247,000円	251,000円	1,167,000円
短大・専門卒業業者	228,000円	234,000円	1,088,000円
高校卒業業者	214,000円	221,000円	1,027,000円

- 昇給 毎年4月1日に前年度の勤務実績に基づき行われます。
 - 諸手当 その他、超過勤務手当、特殊勤務手当、通勤手当、扶養手当などが支給されます。
- ※金額は、令和8年度の基準で算定したものです。なお、採用時に職歴などがある場合は、一定の方法により加算されることがあります。上記額は例示であり、勤務の内容により異なります。
※専門卒は2年課程を想定したものです。 ※端数切り捨て

福利厚生

共済制度

- 給付制度/出産・育児・病気などの理由で長期間働くことが出来ない時に警察共済組合より給付が受けられます。
- 医療費/けが・病気等で医療費が高額になった場合は、高額療養費のほか、警察共済組合独自の給付により自己負担が軽減されます。
- 公的年金/給与差引きにより無理なく保険料を納めることにより、将来、安定的な年金収入を得ることができます。また、在職中に病気やけがにより障害を負った場合は障害年金を受給することも可能です。
- 貸付制度/マイカー購入や子供の教育など、不意の出費で資金が必要な時に貸付制度(担保・手数料不要)を利用できます。
- 制度保険/全国警察職員のスケールメリットを活かした格安の生命保険・医療保険・傷害保険・自動車保険を職員や家族を対象に提供しています。
- 健康管理/年1回、人間ドック同等の健診内容の健康診断が受けられます。また、職員の健康を考えた各種健康教室を年複数回開催する他、メンタルヘルス対策も随時行っています。

警察共済組合では、職員が日々安心して働くことができる医療や保険、子育て等の相互扶助や健康管理制度の環境が整えられています。

休暇制度

- 原則週休2日制(交替制勤務の職員は4週8休制)
- 年次休暇20日間
- その他休暇/◎夏季休暇、慶弔による休暇、介護に関する休暇 ◎結婚休暇、出生サポート休暇(不妊治療に係る休暇) ◎子育て支援休暇(出産休暇(産前・産後休暇)、出産サポート休暇、子の看護休暇等) ◎育児のための休業制度(育児休業(3歳未満の子の養育)、部分休業(小学校就学前の子の養育))

住宅

県内各地に職員住宅や单身寮を完備。また、アパートなどの賃貸住宅については、家賃に応じて住居手当を受給することができ、職員の生活基盤を組織的にサポートしています。



研修制度

国際社会に対応するための各種語学研修や情報処理能力の向上を目的とした研修など、職員のスキルアップを図るための様々な研修制度を設けています。他にも本人の希望・適性によって生活安全、刑事、交通等の専門的な研修を受けることができます。

クラブ活動

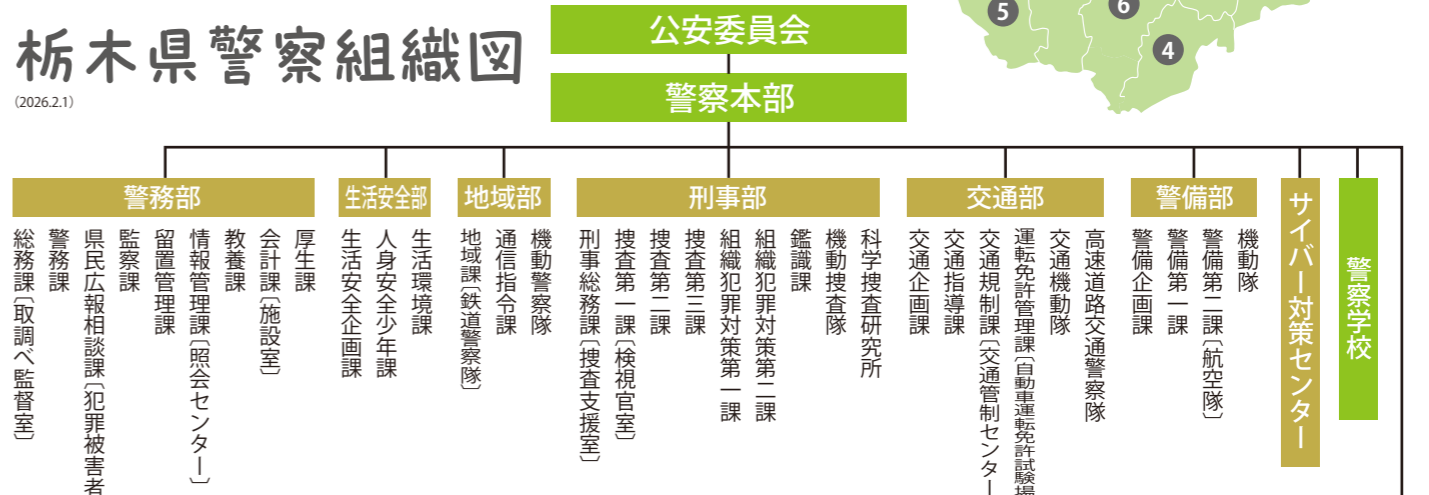
クラブ活動は、「栃木県警ベースボールクラブ」や「栃木県警サッカークラブ」など様々なクラブがあります。職員同士の交流の場として、共に汗を流し、心身を鍛え、絆を深める有意義な活動を行なっています。



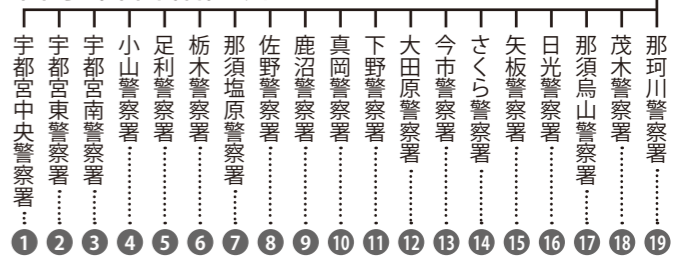
県民のみなさんに安全・安心な暮らしを提供するためには、職員が安心して働ける環境づくりが不可欠です。栃木県警察は充実した給料・福利厚生で、職員への手厚いサポート体制を整えています。

栃木県警察組織図

(2026.2.1)

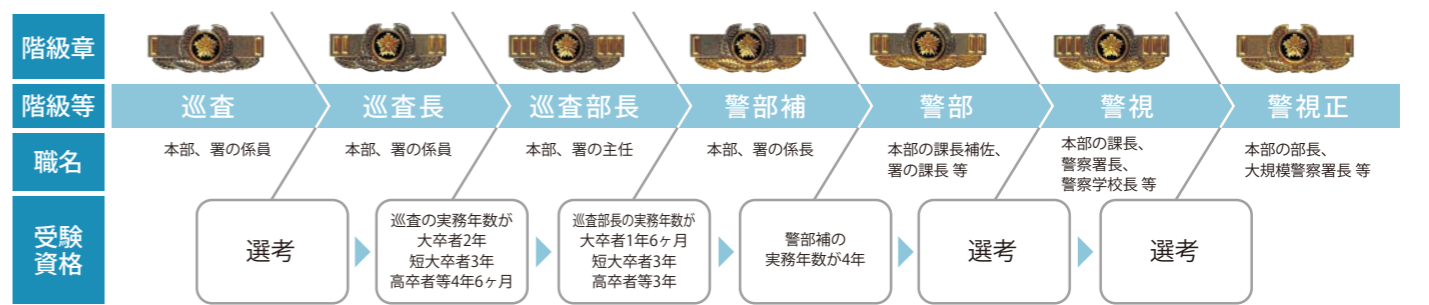


警察署管轄区分



昇任制度

何よりも前向きな気持ちが必要、というのが栃木県警察の昇任制度です。年1回行われる昇任試験に合格すれば、性別や学歴に関係なく、幹部への道が開かれます。また、昇任時には充実した研修が行われ、年齢に関係なく成長できる環境が整っています。



よくある質問

- Q** 採用試験に向けてどのような勉強が必要ですか。
A 一般的な公務員試験やSPI試験と同様の勉強方法で対策ができます。知能分野、知識分野においての択一式問題、論文作成などの試験形式に慣れておくといでしょう。また第二次試験で体力検査もありますので日頃から基礎体力づくりに努めておきましょう。
- Q** 武道の経験がなくても警察官になれますか。
A ほとんどの人が未経験で、専門の教官が指導しますので心配ありません。警察学校では、柔道・剣道に限らず警察官として必要な技能を基礎から学ぶことができます。また、体力面に不安がある方も基礎体力をつける訓練から行いますので、ご安心ください。

Q&A

- Q** 警察学校で、自由時間や外出はできますか。
A 入校直後の約1か月間は休日等に職場に慣れ、同期生との親交を図るためのイベント等があるため、特別な事情のない限り外出はできません。その後は、土曜日・日曜日等の休日は届け出をすれば外出・外泊が可能です。また、授業終了後は自由時間が設けられています。
- Q** 性別によって教養・訓練は違いますか。
A 警察官として必要な知識・技能を習得するため、男女ともに同じ教養・訓練が行われます。性別によって訓練内容が変わることは基本的にありません。近年、女性が必要とされる分野が増えており、多くの女性警察官が活躍の場を広げています。